

この紙のゴール：基本の受け身に加えて、will / can のうしろと have been + 過去分詞の形が作れる

基礎を固めるクラス 偏差値のめやす 40～50程度 助動詞つきと完了形の受け身まで見ます（進行形・群動詞は出しません）

気づき AとB、和訳はどちらも「昨日、自転車を盗まれた」。何が違う？（30秒考えて、となりの人と答え合わせ）

A	My bike was stolen yesterday.	昨日、自転車を盗まれた。
B	Someone stole my bike yesterday.	（直訳）昨日、だれかが自転車を盗んだ。

Bは「だれかが何をしたか」の文。でも盗んだ人はわからないから、someone という中身のない主語を置くしかありません。Aは自転車を主語に立てて「自転車の身に何が起きたか」だけを言う形—これが受動態です。する側を言えない・言わなくていい・言いたくないとき、英語は受動態を選びます。だから実際の受動態の文の多くに by ～ は付きません。

整理 受け身の4つの型

形	作り方	表すこと	例文
基本の受け身	am / is / are + 過去分詞	～される・されている	Rice is grown in this area. この地域では米が作られている。
過去の受け身	was / were + 過去分詞	～された	Our school was built in 1935. うちの学校は1935年に建てられた。
助動詞つき	will / can / must be + 過去分詞	～されるだろう・されうる	The gym can be used until six. 体育館は6時まで使える。
完了形の受け身	have / has been + 過去分詞	～されてしまった・され続けている	The date has not been decided yet. 日程はまだ決まっていない。

これで「今・過去・これから・今までずっと」がそろいました。助動詞のうしろでも be は消えません (can be used / will be held) —be を落とす誤りがこの帯の失点の大半です。完了形の受け身は have / has been + 過去分詞。yet / already / since と組んで「まだ決まっていない」「ずっと愛されてきた」が言えるようになります。

確認 () 内から正しいほうを選ぼう。 知識・技能

- (1) This library (was built / built) fifty years ago.
- (2) English and French (speak / are spoken) in Canada.
- (3) My grandfather (was made / made) this chair thirty years ago.
- (4) The winner (has not been announced / was not announced) yet.
- (5) The computer room (can be used / can use) until six on weekdays.

受動態の見取り図 | 解答とつまずきポイント

確認の解答

(1)	was built	図書館は「建てる側」ではなく「建てられる側」。fifty years ago なので be動詞は過去形。
(2)	are spoken	主語は2つ＝複数。be動詞を落とした spoken だけでは文にならない。
(3)	made	祖父は「作る側」なので能動のままー能動が正解の文もある。
(4)	has not been announced	yet があるので完了形。受け身なので been + 過去分詞。
(5)	can be used	助動詞のうしろでも be は消えない。can used が最頻出の誤り。

つまずき① be動詞を落とす／時を過去分詞に背負わせる

受動態の時制は**be動詞が背負います**（完了形では have / has が背負う）。過去の話なら was / were、未来なら will beー過去分詞そのものは形を変えません。

× This photo is taken by my father ten years ago. → ○ This photo was taken by my father ten years ago.
ten years ago は過去。時を背負うのは be動詞なので is → was。taken はそのまま。

つまずき② 「～される」と訳せないと受動態に気づけない

日本語の「られる」と英語の受動態は範囲がずれています。I was born in Osaka. は英語では受動態。「ニュースにおどろいた」も、surprise＝「おどろかせる」なので was surprised。訳語ではなく「主語はする側か、される側か」で判断させてください。

× I borned in Osaka in 2010. → ○ I was born in Osaka in 2010.
born は bear（産む）の過去分詞。「生まれる」は英語では「産まれる」＝される側。

つまずき③ なんでも by にする

by は「した側」を名指しする前置詞です。状態や材料と組む受け身は、決まった前置詞とセットーknown to ～（～に知られている）・covered with ～（～でおおわれて）・made of / from ～（材料が見える／原料が変化）。

× This singer is known by people all over the world. → ○ This singer is known to people all over the world.
「～に知られている」は known to。by にすると「人々によって見分けられる」のような別の意味に響く。

つまずき④ 「される側」がない動詞を受け身にする

happen / appear / die / arrive にはそもそも「される側」が存在しないので受動態にできません。「事故が起きた」の「が」につられるのが定番の誤りです。

× The accident was happened in front of the station last night. → ○ The accident happened in front of the station last night.
happen に「される側」はいない。主語の accident が自分で起きるので能動のまま。

授業のひとつ 導入は自転車の2文だけで十分です。1分の挙手ゲームが効きますー「主語は『される側』？なら挙手」で4文：This song is loved by many fans. / My mother made this bag. / I was born in July. / The accident happened yesterday.（3文目で意見が割れます）

